

こどもが主役の街「キッズニア甲子園」 神明が『精米工場』パビリオンを出展 玄米から商品を作り上げる精米工場の体験ができる！

株式会社神明(本社:神戸市中央区、代表取締役社長:藤尾 益雄、以下、神明)と、“こどもが主役の街”「キッズニア甲子園(KidZania Koshien)」の企画・運営を行う、KCJ GROUP 株式会社(本店:東京都千代田区、代表取締役社長兼CEO:住谷 栄之資、以下 KCJ)は、「キッズニア甲子園」へのパビリオンの出展に関して合意し、オフィシャルスポンサーとして『精米工場』パビリオンを2014年4月下旬頃にオープンすることが決定しましたので、お知らせいたします。

『精米工場』パビリオンでは、こども達が精米工場のスタッフとなり、「玄米から白米への工程」「お米の選別作業」「商品の袋詰め」など、玄米から商品ができるまでの様々な作業を行います。こども達は体験を通じ、日常食べているお米がどのように製造されているかを理解し、お米に対する関心を高めることができます。



【パビリオン出展契約締結署名の様子】



(右) 神明 取締役 藤尾 益人
(左) KCJ 代表取締役社長 住谷栄之資
(中央)キッズニアキャラクター ウルバノ

キッズニアは、こども達が楽しみながら将来の自分の職業や社会の中での役割について考える場を提供することを目的とした職業・社会体験型施設です。キッズニアのコンセプトは、「エデュケーション(学び)」と「エンターテインメント(楽しさ)」を合わせた『エデュテインメント』。実在する企業が出展するパビリオンで、こども達が様々な職業を疑似体験することを通して、社会性や自立心を育むことができます。

また、キッズニアでは、2010年にFOOD ACTION NIPPONに推進パートナーとして参画したのを契機に「おいしい国」宣言をし、こども達に“食”の大切さを伝える体験型の取り組みを実施するなど、食育を推進しています。

神明は、お米を通じて、素晴らしい日本の水田、文化を守り、おいしさと幸せを創造して、人々の明るい食生活に貢献することを企業理念としています。今回の出展により、未来を担うこども達が、日本の主食であるお米に興味を持ち、「日本農業の発展」や「米の消費拡大」などにつながることを期待しています。

また、玄米から商品を作り上げるまでには様々なプロセスがあり、それらを神明独自の基準でしっかりと管理することで、毎日安心して美味しいお米が食べられることを知り、食の重要性を学べるパビリオンでありたい、と考えています。

Press Release

2013年10月17日

◆神明 会社概要

社名	: 株式会社神明
本社所在地	: 神戸市中央区栄町通6-1-21
代表者	: 代表取締役社長 藤尾 益雄
設立	: 1950年10月18日
資本金	: 5億8千9百万円
事業内容	: 米・砂糖・穀物・小麦粉・その他食料品の卸売並びに加工、など
URL	: http://www.akafuji.co.jp/

◆KCJ GROUP 会社概要

社名	: KCJ GROUP 株式会社
本店所在地	: 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館2階
代表者	: 代表取締役社長兼CEO 住谷 栄之資
設立	: 2004年9月27日
資本金	: 2億5,200万円

◆キッズニア甲子園 施設概要

施設名	: キッズニア甲子園(KidZania Koshien)
所在地	: 兵庫県西宮市甲子園八番町1-100 ららぽーと甲子園
延床面積	: 約1,800坪(約6,000㎡)
パビリオン数	: 約60
年間来場者数	: 約71万人
定休日	: 不定休
URL	: キッズニア甲子園オフィシャルサイト www.kidzania.jp/koshien/

【キッズニア】について

「キッズニア」は、メキシコのKZM社(本社:メキシコ・シティ、CEO:ハビエル・ロペス)によって開発された、子ども向けの職業体験施設で、3歳から15歳までの子ども達を主な対象とした、様々な職業を通じて社会のしくみを体験することができる「子どもが主役の街」です。

現実社会のほぼ2/3のサイズで造られた、60以上の実在する企業が出展するパビリオンが、リアルな街並みを形成しており、その中で90種類以上の職業・社会体験をすることができます。